

2022年3月期
第1四半期決算説明会

アステリア株式会社 (東証一部:3853)

2021年8月12日

決算概要

2022年3月期 第1四半期決算
(国際会計基準 = IFRS)

中期経営計画

Sustainable

持続的貢献に伴う持続的成長

Refine

さらに磨きをかける



Top-line

価値創造に伴う売上成長

Acquisition

企業/技術買収でスピードを獲得

中期経営計画

2021年3月期
実績

26.9億円

売上収益

2024年3月期
計画

45億円

+67.4%

6.2億円

調整後EBITDA

10億円

+62.5%

※調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費
±のれん減損、未実現買収対価、未実現評価損益等

FY2021
仕込み

FY2022
仕切り

FY2023
仕上げ

※IFRSは四捨五入表記

報告事業単位再編

2021年3月期まで

中期経営計画「STAR」

エンタープライズ



ソフトウェア事業

ネットサービス



デザイン事業

デザインサービス



投資事業



Asteria Vision Fund

各事業の構成

ソフトウェア事業

ソフトウェアセグメント

デザイン事業

投資セグメント

投資事業



Asteria



warp Handbook



Platio



Gravio

創業事業：企業向けソフトウェア製品
主要拠点：日本（東京）



創発事業：2017年のM&Aにより開始
主要拠点：英国（ロンドン）



Gorilla



imagine
INTELLIGENT MATERIALS



Workspot



JPYC

創造事業：2019年にAsteria Vision Fund開始
主要拠点：米国（テキサス州プレイノ市）

各事業の責任者

ソフトウェア事業



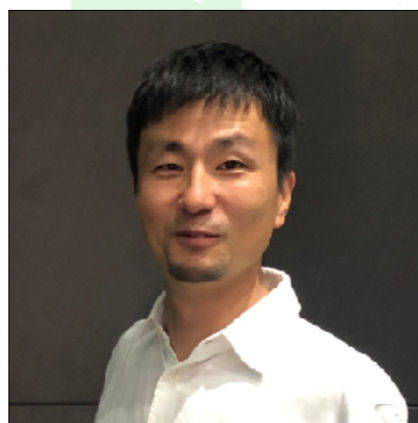
常務執行役員
熊谷 晋 (KUMAGAI, Susumu)

デザイン事業



This Place CEO (当社執行役員)
Dusan Hamlin

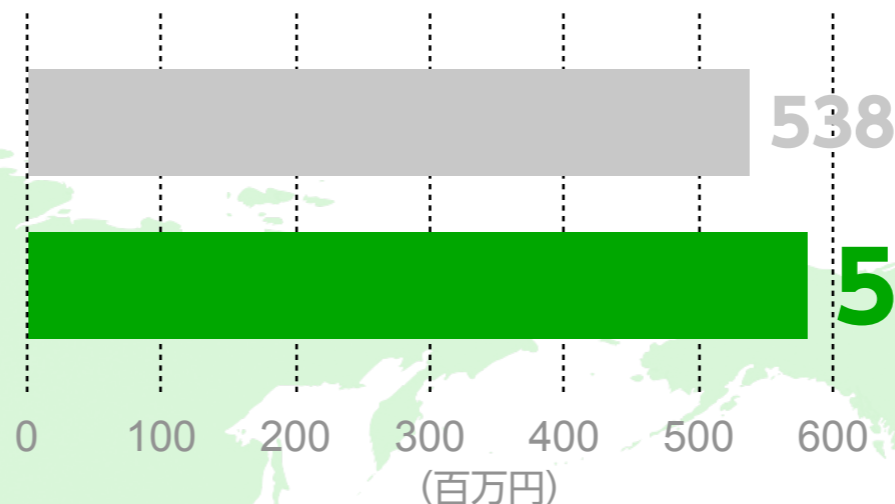
投資事業



Asteria Vision Fund 代表
吉田 晋司 (YOSHIDA, Shinji)

各事業の第1四半期

ソフトウェア事業



前期比
108.0%
サブスクが順調

デザイン事業



前期比
73.2%
海外のコロナによる
顧客ダメージ影響

投資事業

- ✓ 売上計上は基本的に無し
- ✓ 損益計上は投資先の評価替えおよび為替による

第1四半期新規投資





Asteria[☆] warp

主力製品①

- ✓ 新たな連携ニーズ拡大
- ✓ ライセンス売上 約9%増
- ✓ サブスク売上 約4割増



Handbook

主力製品②

- ✓ コロナ対応利用等により
堅調に推移



Platio



Gravio

急成長製品①

✓ ノーコード施策で売上 約2倍

採用事例拡大



鶴雅(つるが)リゾート

OSHMAN'S®



沖縄に逢える!! 沖縄が味わえる!!

株式会社 おきなわ物産センター

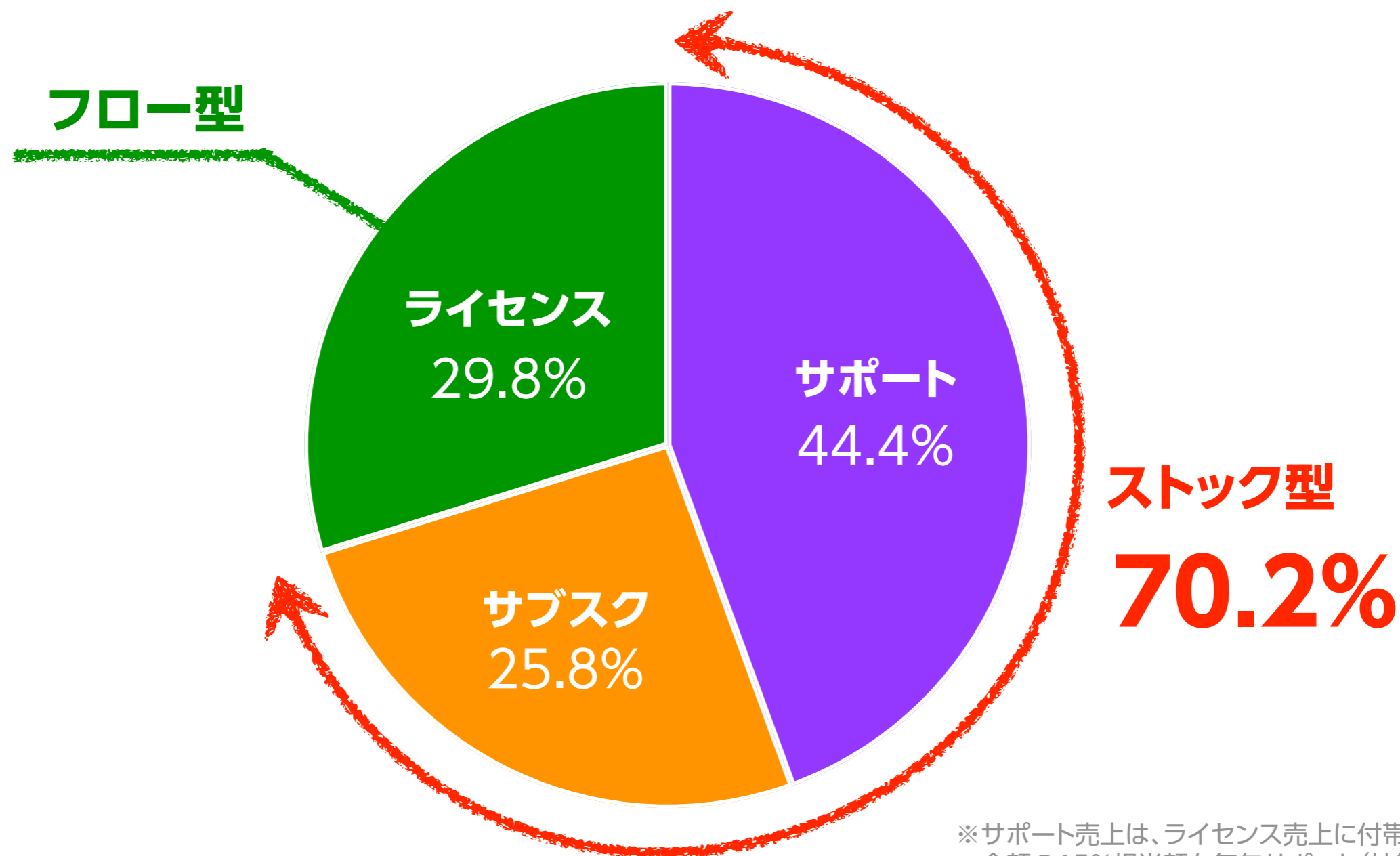
急成長製品②

✓ コロナ需要で売上 約3倍

✓ CO₂センサーパック発売

ソフトウェア事業の売上種別構成

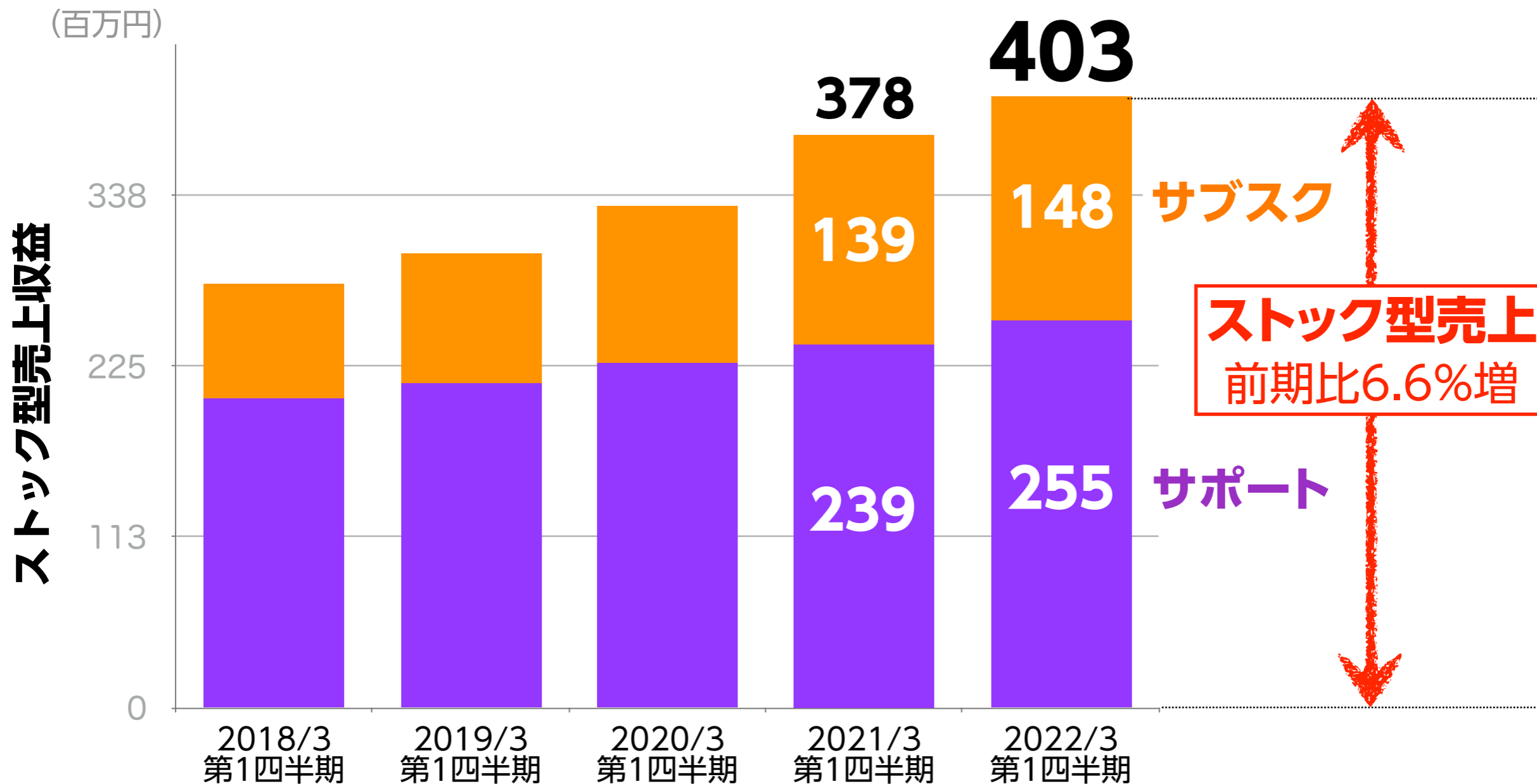
✓ ソフトウェア事業におけるストック（継続売上）型売上比率は7割を超える。



※サポート売上は、ライセンス売上に付帯してライセンス金額の15%相当額を毎年サポート（技術問い合わせと製品のアップデート）料金として継続的にいただくもの

ストック型売上の推移

✓ ストック型（サブスク+サポート）売上が安定成長し続伸。



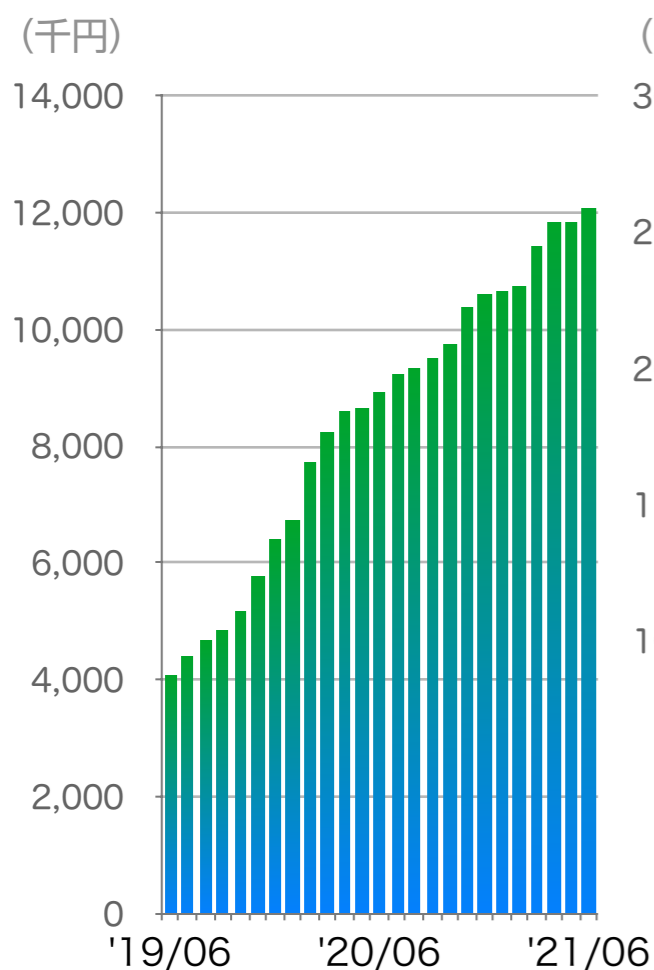
MRRの推移と解約率(R.チャーン)



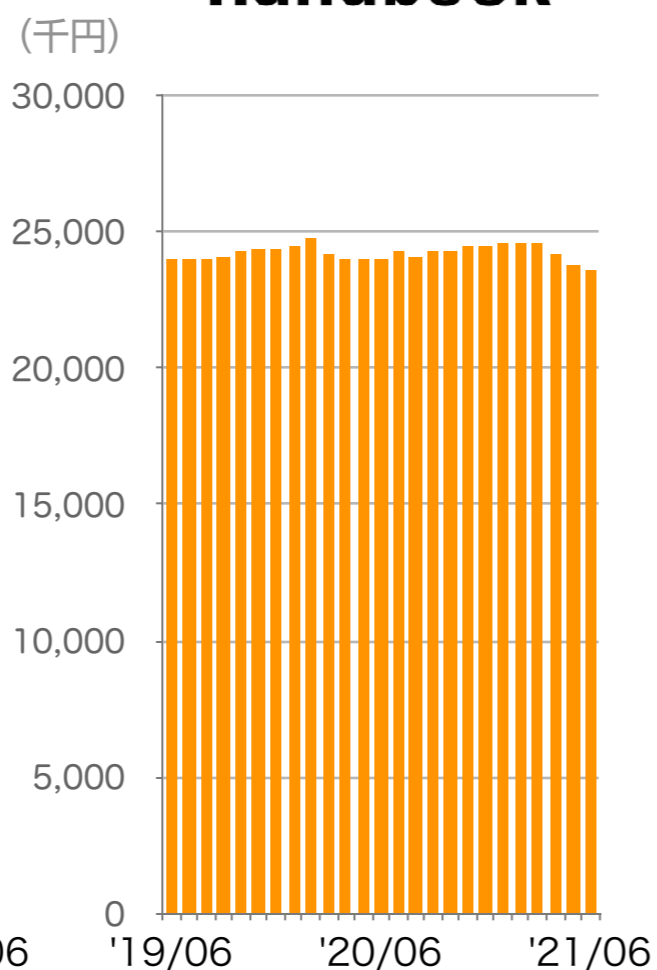
Handbook

Platio

Gravio

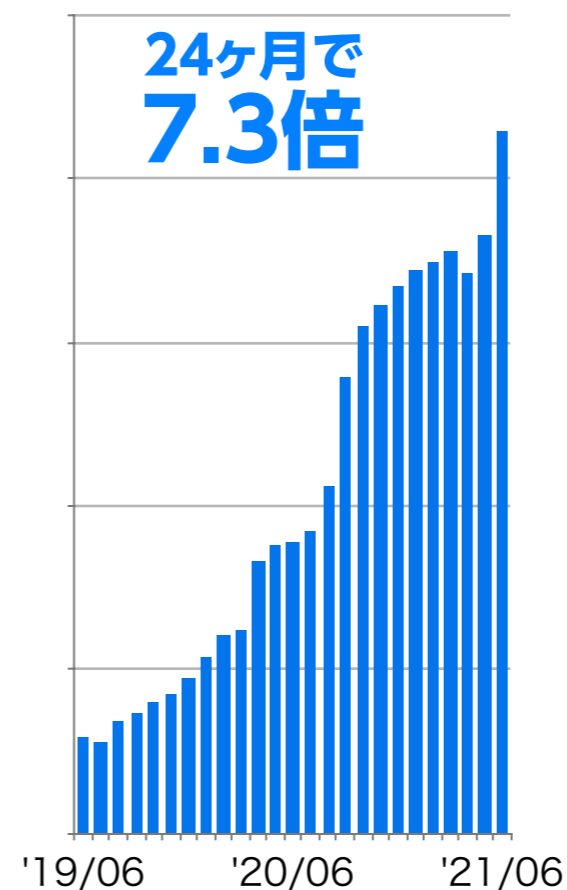


R.チャーン: 1.5%



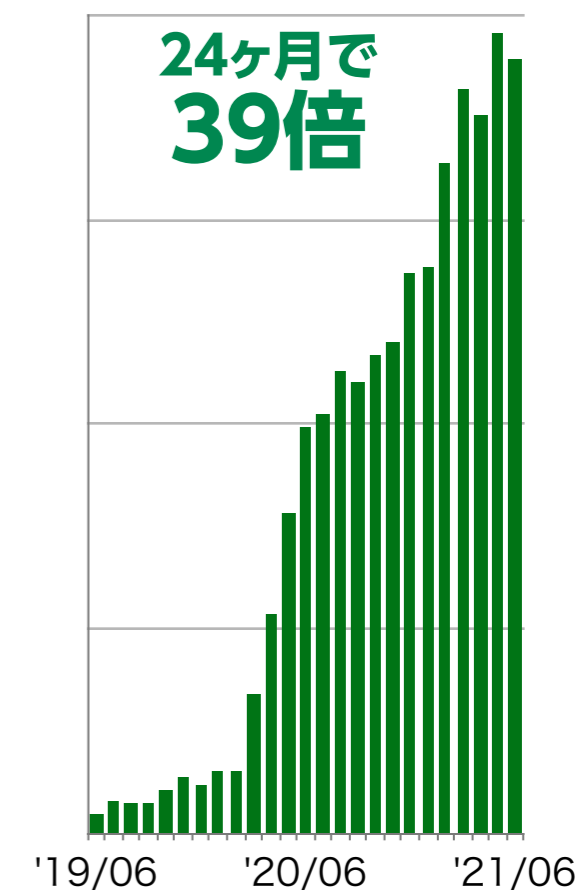
R.チャーン: 2.3%

※新製品投入予定



R.チャーン: 5.5%

※TV/タクシー等CM予定



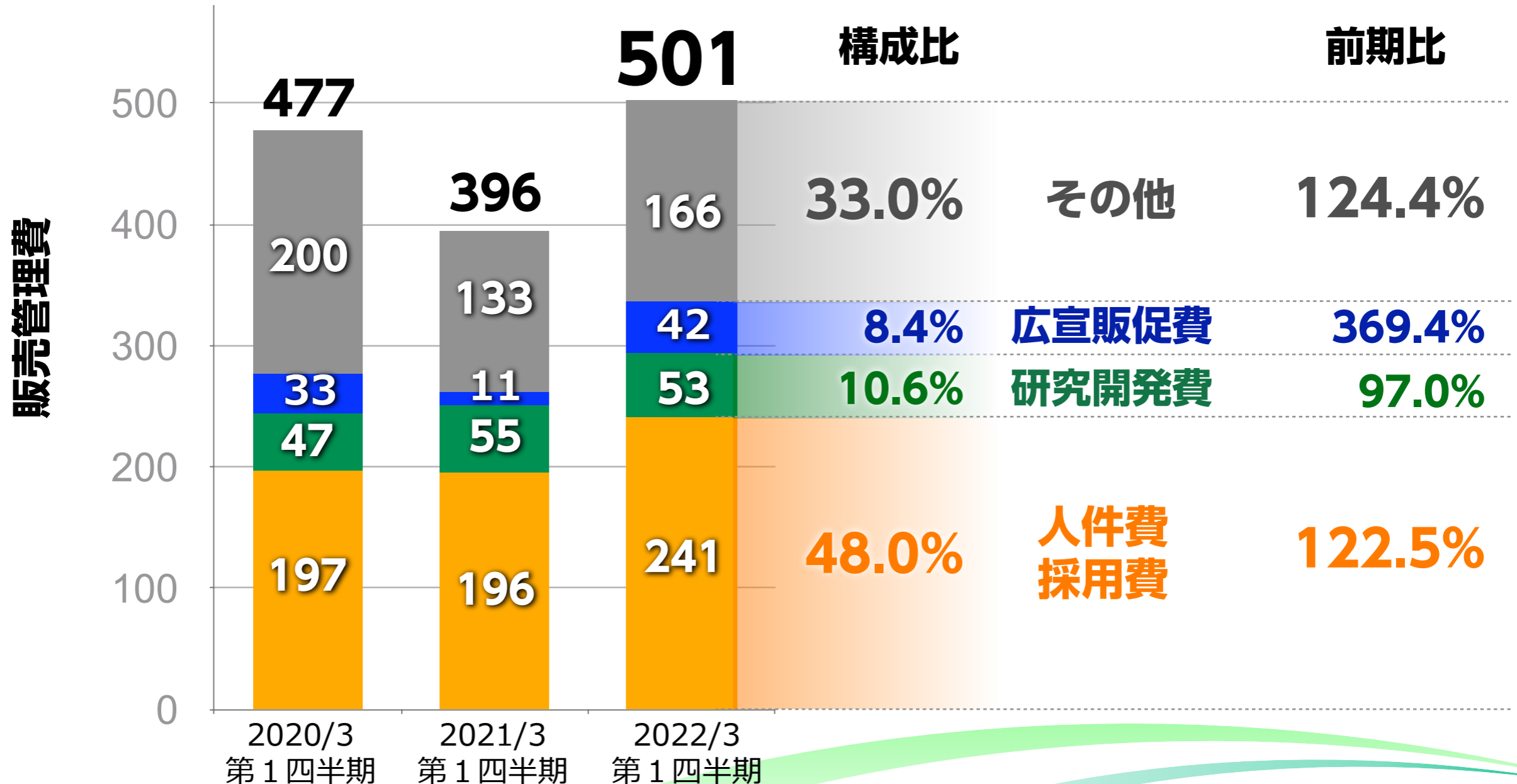
R.チャーン: 1.4%

※R.チャーン: 月間売上総解約率。第1四半期3カ月平均。

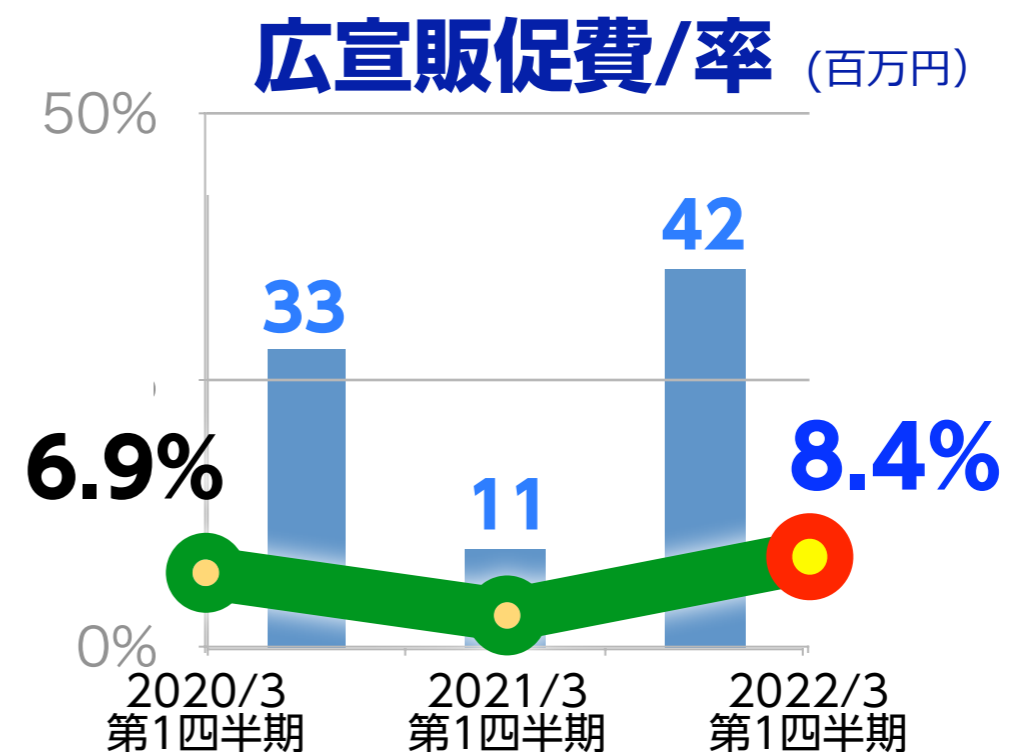
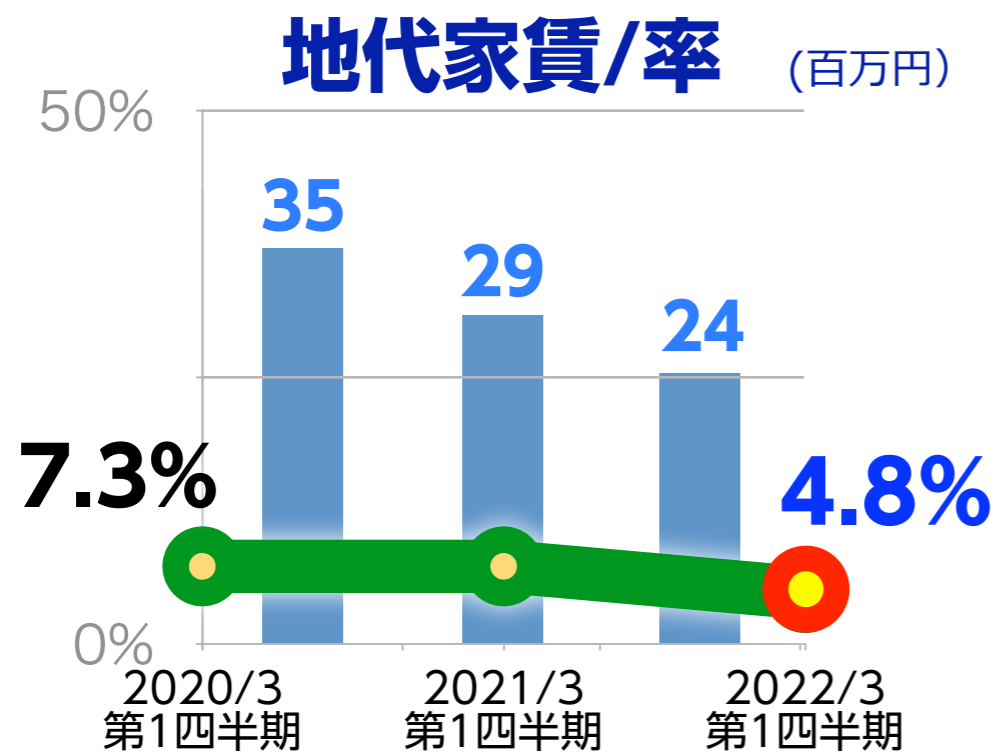
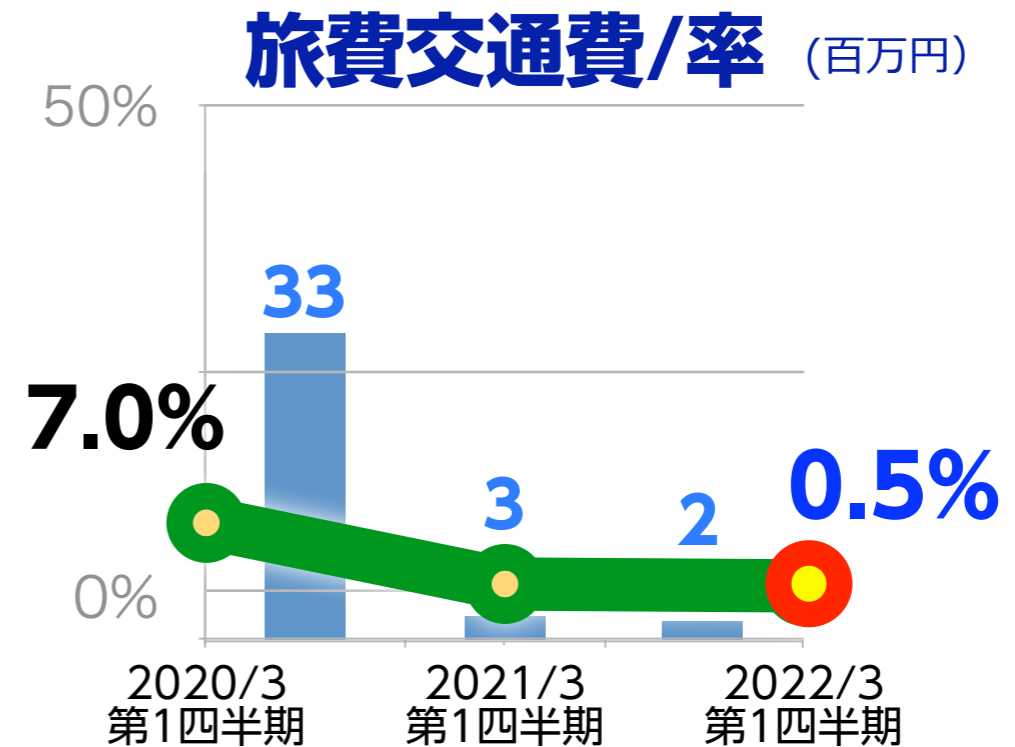
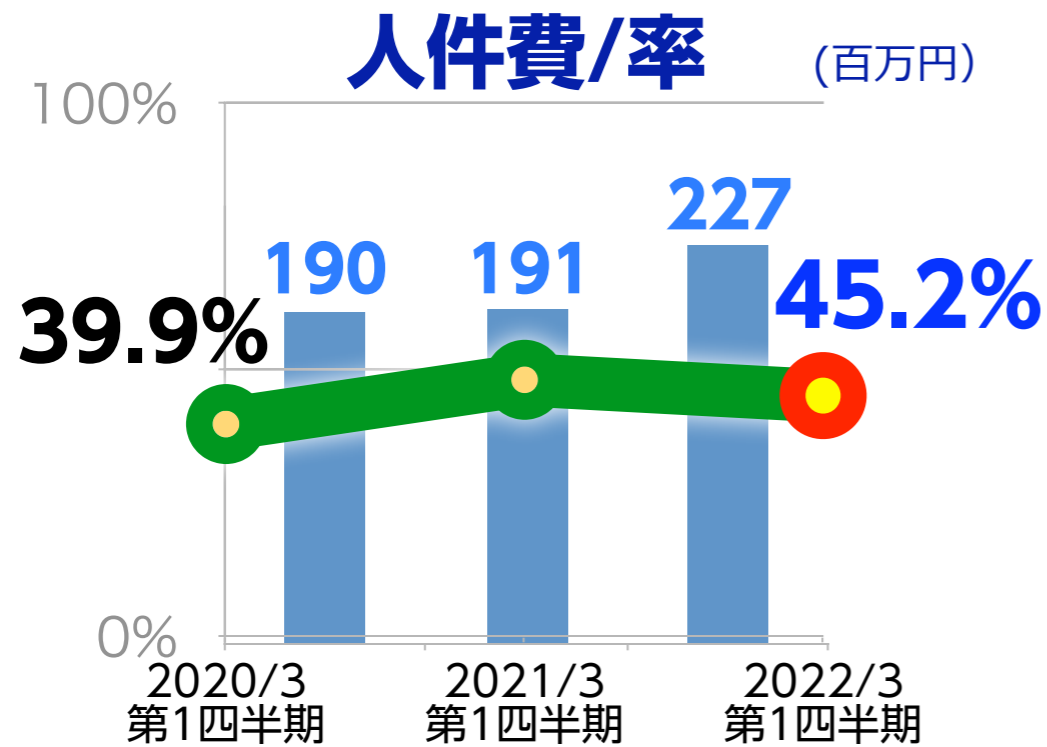
販売管理費の推移と内訳

- ✓ 「中期経営計画STAR」に基づき、「人件費+募集採用費」および「広告販促費」が計画通りに推移。
- ✓ 「その他」の「支払報酬（主に監査・弁護士報酬）」が増加

(単位：百万円)

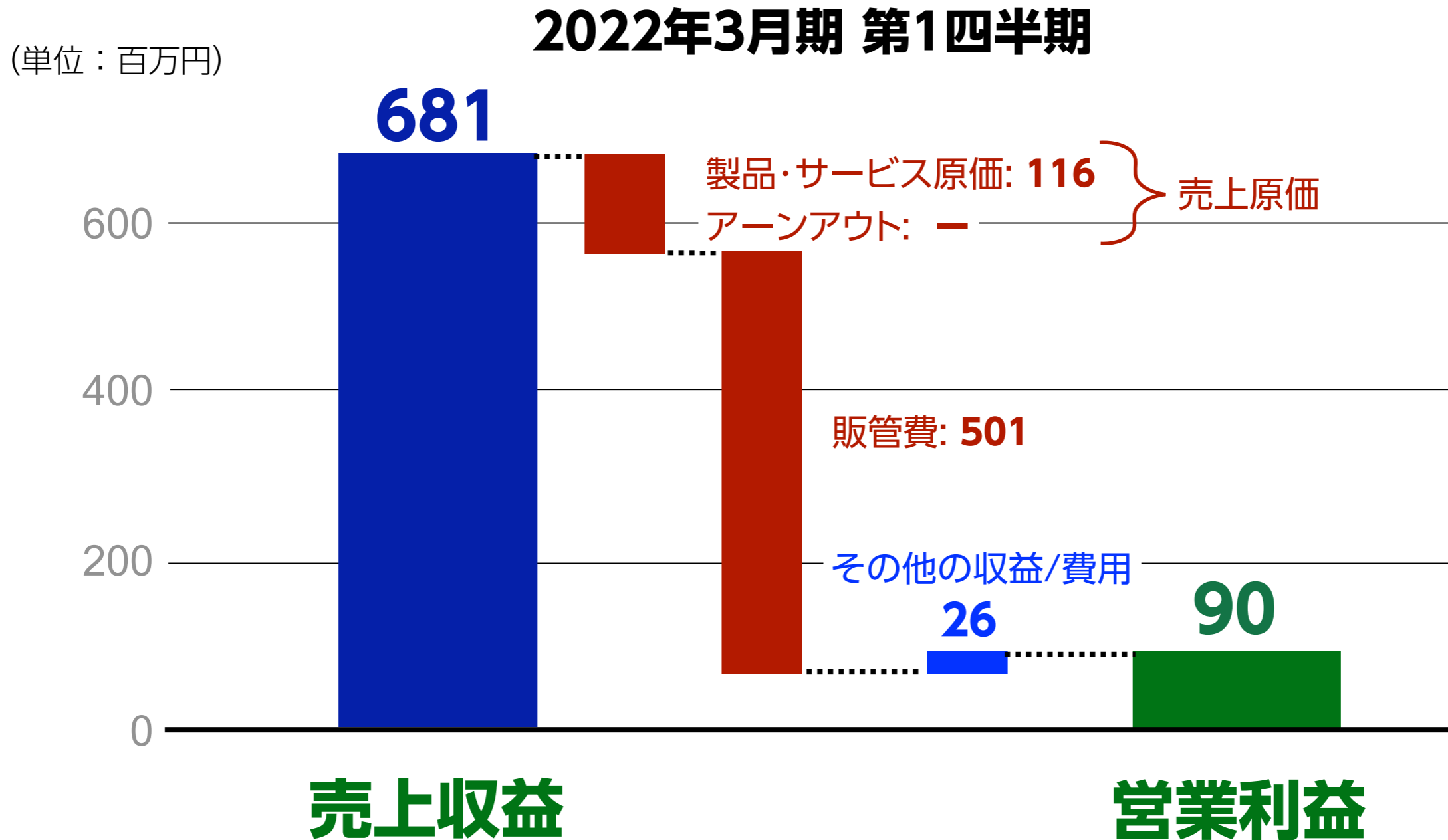


主要項目別販売管理費/構成比の推移 (3カ年比較)



売上収益から営業利益までの内訳

- ✓ 「中期経営計画STAR」に基づいた「販管費」の増加により営業利益が減少。

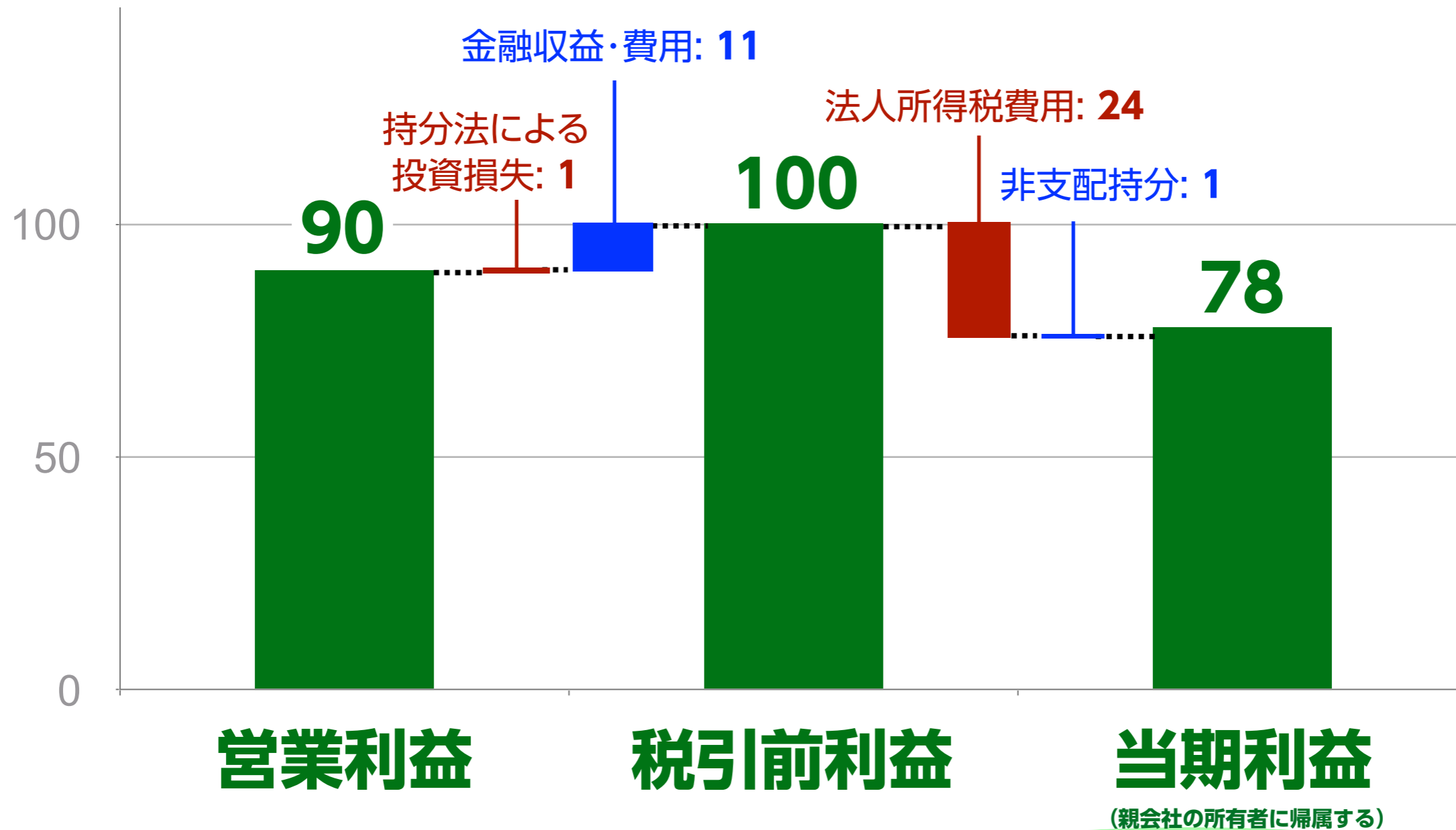


営業利益/税引前利益/当期利益

(親会社の所有者に帰属する)

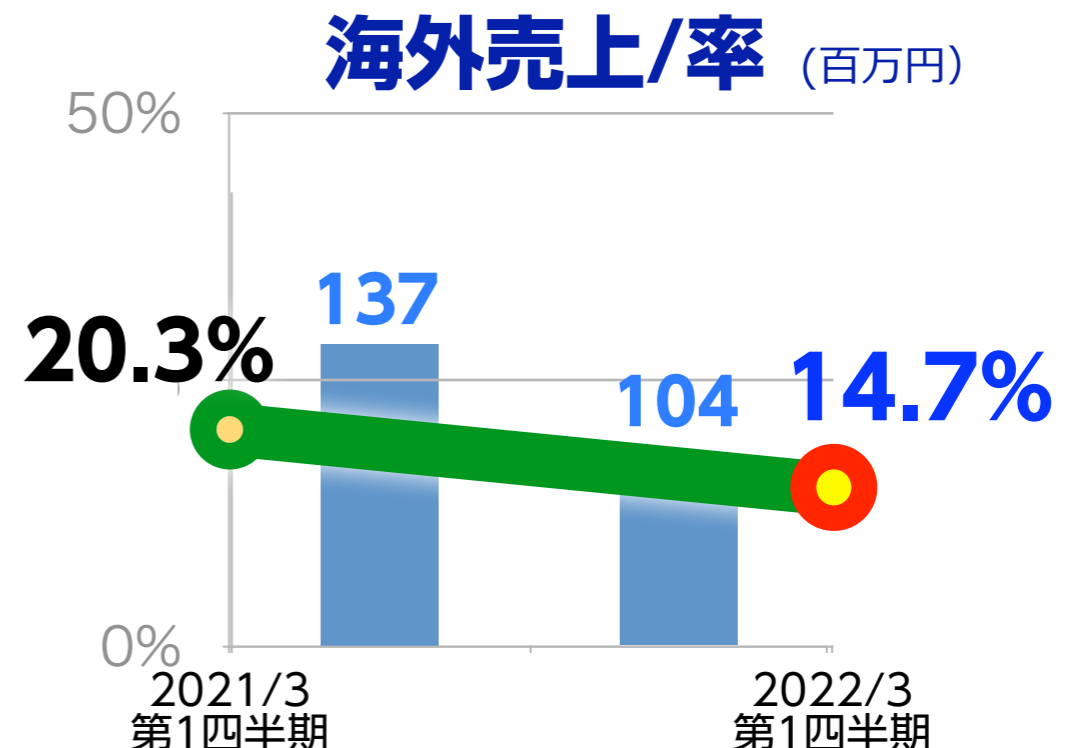
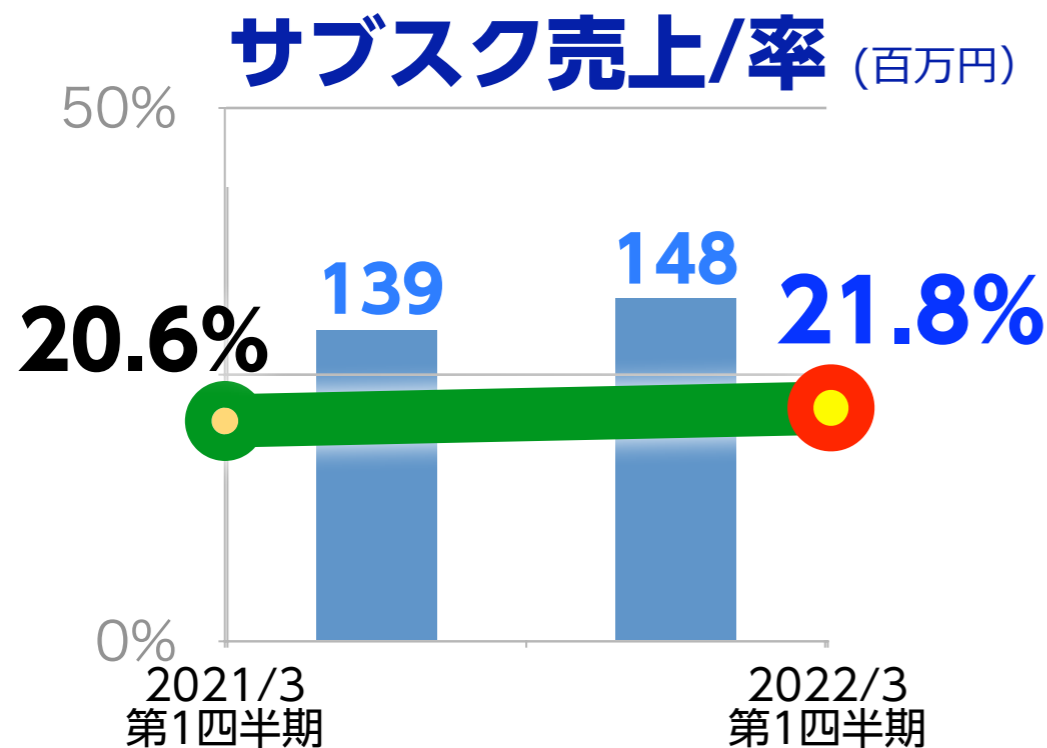
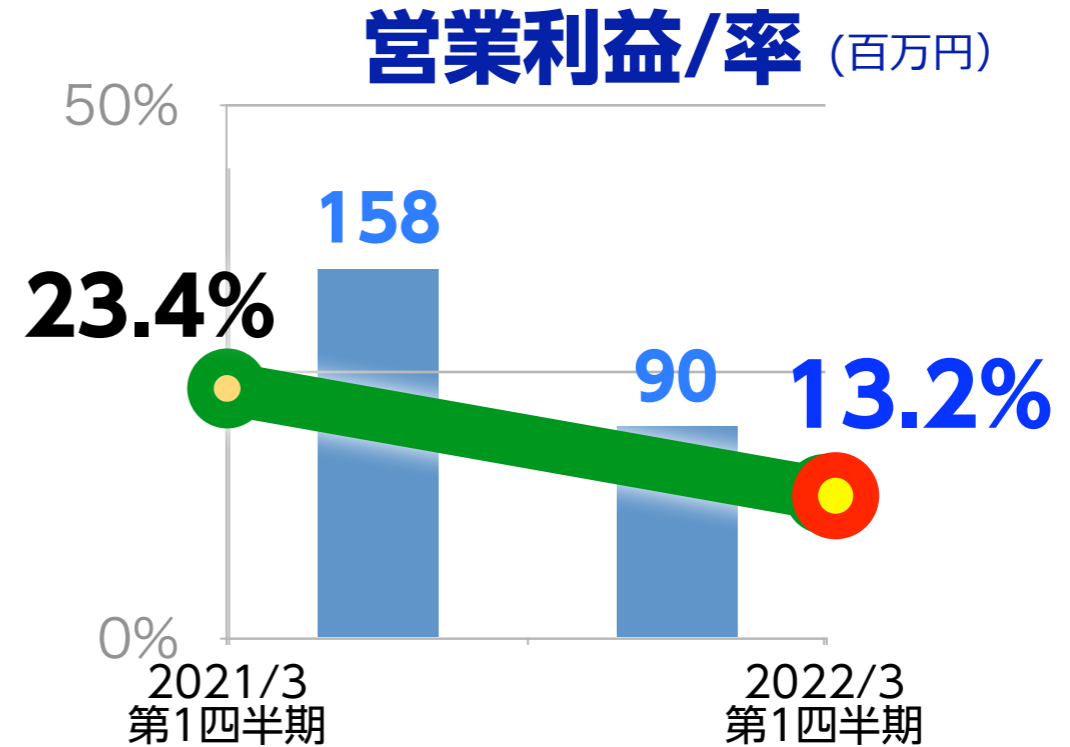
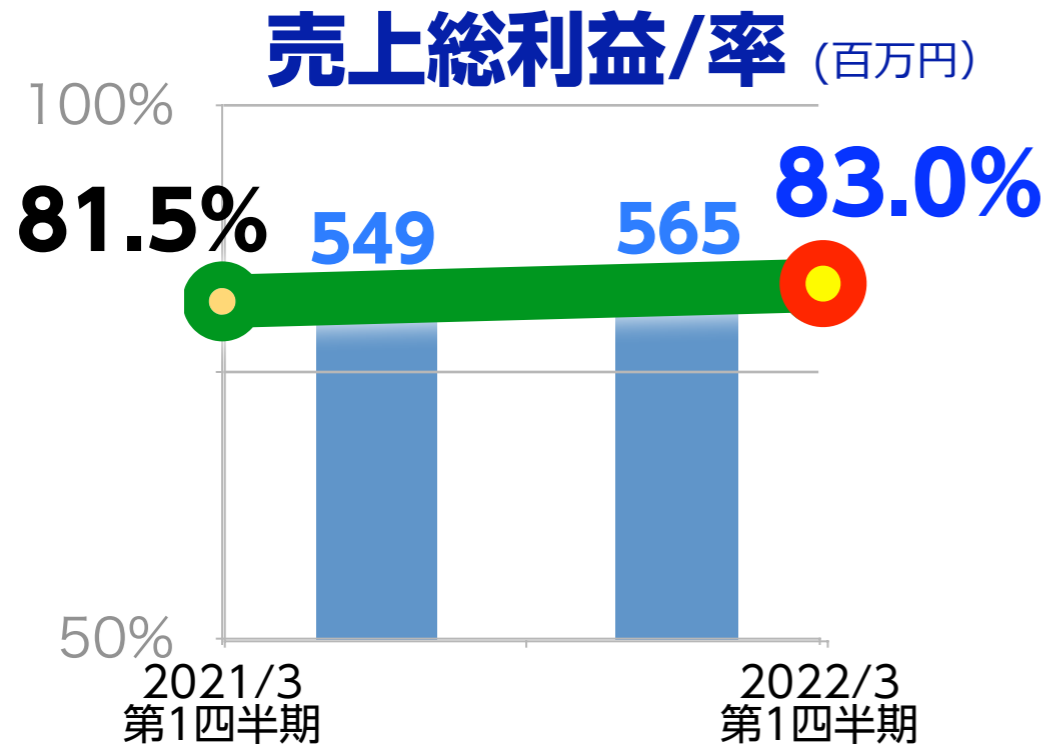
2022年3月期 第1四半期

(単位：百万円)



(親会社の所有者に帰属する)

経営指標の推移 (前年同期比)



財政状態計算書

	2021年 3月31日	2021年 6月30日	増減
資産 の 部	現預金等	2,451	2,273 ▲179
	営業債権	256	355 99
	その他流動資産	80	115 35
	有形固定資産	181	483 302
	のれん	1,015	1,022 7
	無形資産	69	72 3
	投資等その他	3,855	3,898 42
	資産合計	7,907	8,216 309
負債 の 部	借入金	243	243 -
	営業債務	182	190 8
	未払法人所得税等	99	40 ▲59
	その他流動負債	689	839 151
	長期借入金	643	607 ▲36
	その他非流動負債	330	622 292
負債合計	2,186	2,542 356	
資本 の 部	株主資本	5,682	5,679 ▲3
	その他資本の構成要素	▲138	▲181 ▲43
	非支配持分	178	176 ▲1
	資本合計	5,721	5,674 ▲47

(単位：百万円)

■現預金等

2,273 百万円

■自己資本比率

66.9%

積極的な投資に耐えうる
極めて健全な財務体質

キャッシュ・フロー計算書

- ✓ 減価償却費、営業債権、法人税等の増加により営業キャッシュフローが減少
- ✓ 今後の戦略的投資に向けて**22億円超**の潤沢な現預金等を有する。

(単位:百万円)	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期
営業活動による キャッシュ・フロー	408	51
投資活動による キャッシュ・フロー	▲9	▲110
財務活動による キャッシュ・フロー	▲129	▲122
現金及び現金同等物の 期末残高	2,741	2,273



2022年3月期 第1四半期決算説明会

お問い合わせは:03-5718-1655



LINEによるIRニュース

本説明会及び説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご承知おきください。

(証券コード : 3853)